

「もっす通信」

2020年 中村 亨「もっす」通信:NO.27号

連絡先：020-0853 盛岡市下飯岡3-22-1

TEL・FAX 019-658-0505

メールアドレス tohru.nk@gmail.com

ホームページ <http://nakamura-tohru.jp/>

中村とおる市議会議員活動報告

発行2020年3月



この議員活動報告
「もっす」通信の作成
に関する経費は、政務
活動費を充当させてい
ただいております。

全国的に新型コロナウイルス感染の報道がされ、社会的活動に影響が出ております。

皆様も感染予防対策を取っていただきたいと思います。

今回のもっす通信は10月、12月の一般質問、3月の会派代表質問した内容や議員活動の一端を掲載しております。

*いつも「もっす」通信をご覧頂きましてありがとうございます。

お困りごとや市政への要望・意見などがございましたら、お気軽にお寄せください。

「私の3月代表質問項目」をピックアップ

◎新型コロナウイルス感染防止対応と地域経済への影響把握と対応について

◎総合計画の戦略プロジェクトの成果と課題は

◎仮称「盛岡市子ども権利条例」の策定する考えは

◎産後ケアの更なる取り組み推進を図るべきでは

◎同性パートナーシップ証明制度導入に向けた要綱を策定する考えについて

◎今後、野球場やサッカー場照明施設が整備される盛岡南公園を都市計画変更し、更に少年野球場、複合体育館、全天候型子供の遊び場などを整備し、総合スポーツ公園にする考えは

◎腰を据えた農林畜産業の振興に対する取り組みを

◎道路・街路樹の適正点検とその結果に応じた早期対応を

◎公共交通の確保の観点でバス事業者等に対する支援の継続と補助事業の拡充に取り組むべき

◎不登校相談員、スクールカウンセラー、ソーシャルワーカーの十分な配置と児童生徒・保護者への支援の充実は

◎保護者の利便性の向上につながる学校給食費の公会計化への前向きな考えは

*市長・教育長の所信表明に対して今回も市政クラブ会派幹事長として、代表質問させていただきました。令和2年度は盛岡市総合計画の中間年にあたり、農林畜産業への取り組みの充実、地域公共交通の確保策、子ども子育て環境の更なる充実、幼児教育無償化に伴う副食費の補助など質し、特にも昨年も取り上げた学校給食費の公会計化については、今回は、早期に取り組むという前向きな答弁をいただきました。

2019年10月定例会 質問より

教育環境について



質問

英語教育でのICT活用とその対応は？

回答

動画や音声などによるデジタル教材の活用が効果的であり、電子黒板の活用や外国語科の教科書と関連のある教材にアクセスするため無線LAN等の環境整備に努めてまいりたい。

学習端末や情報機器の整備が進み、英語・プログラミング教育が充実すればいいな

質問

学校における制服と私服のメリット、デメリット、服装の自由化に対する教育委員会の見解は？

回答

メリットとしては、学校としての一体感や所属感をもたせることができること、保護者の経済的負担の軽減などがあげられ、デメリットは、入学時、転校時に一時的な費用負担が生じること、自由に自分の好きな衣服を着用できないことがあげられます。服装の自由化につきましては、基本的に学校が、生徒や保護者の意見を聞きながら、総合的に判断していくものであると存じております。また、服装に関して個別の配慮が必要な児童生徒がいる場合は、服装にこだわらず柔軟な対応が肝要であると存じております。

質問

文部科学省からのガイドラインを踏まえ、学校給食費の公会計化にすべきでは？

回答

市の学校給食は、献立の作成や食材の調達をそれぞれの調理場ごとに行っており、各調理場で給食費が異なっていることから、長年にわたり、私会計により行ってきました。他の先行事例や課題の整理、教職員の働き改革の推進するため公会計化に向けて検討してまいりたい。



2019年12月定例会 質問より

農業分野について



質問

種子法廃止による農業への影響と今後の懸念についての見解は？

回答

岩手県においては、米、麦や大豆の優良種子の安定供給を図るために要綱・要領を制定し、引き続き優良な種子を安定的に生産・供給する体制を堅持しており、現時点で粗悪な種子が流通するなどの問題は生じてないと認識しています。今後の懸念については種子法廃止により、種もみの価格上昇や品質低下等が懸念されますが、関係機関等から情報収集に努めるとともに生産・流通現場の動向を注視してまいります。

不妊に悩む方への特定治療支援事業について

質問

私の政策提言を受け入れていただき、令和元年度から市の単独上乗せ助成が始まりましたが、実施状況と上乗せ助成を受けた方々の受け止め、そして更なる事業の拡充についての見解は？

回答

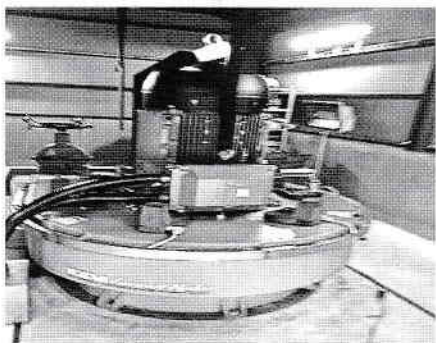
令和元年10月末現在、助成件数142件、うち上乗せ助成件数は82件、全体の57.7%となっております。上乗せ助成を受けた方々の受け止めについてであります。母子健康課の窓口で申請の際に伺ったところ、助成額の上乗せに感謝を伝える方も多く、おおむね好意的に受け止めていただいているものと存じております。また、助成を受けた方々の半数以上が上乗せ助成の対象となっていることから、経済的負担の軽減に繋がっているものと認識しております。事業の拡充についてですが、令和元年11月に指定医療機関が1箇所増え、利便性の向上に繋がっており、引き続き制度の周知に努め、利用者の声に耳を傾け、希望に沿った事業の拡充に向け努力してまいります。

指定医療機関が3箇所
に増えたことは良いで
すが、更に上乗せ助成
額を拡充し、経済的負
担を和らげて欲しい。



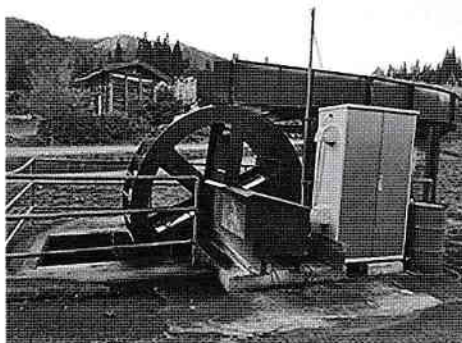
活動フォトグラフィ

昨年11月6日に市政クラブ会派視察で岐阜県白鳥町石徹白地区の小水力発電施設とやすらぎの里いとしろの地域づくりを視察してまいりました。



石徹白番場正龍発電所

発電出力最大125KW、年間発電電力量約61万KWH（一般家庭約130世帯分）で地域住民の出資による農業組合が事業主体となっています。



上掛け水車発電

発電出力最大2,2KW、「白鳥ふるさと食品加工伝承施設」に電力を供給。



らせん型水車

発電出力最大800W、住宅兼NPOの事務所に供給しています。



自分たちの手でエネルギーを生み出し集落再生を目指す。
人口250人世帯数110世帯ですが、この10年間で子育て世帯の移住・出産により14世帯40人が増加をしています。



都南川目道路開通式（12月8日）

盛岡市議会建設常任委員長として出席。
復興道路の完成が間近になり、今後、沿岸と内陸との交流がますます活発化し、交流人口の拡大が期待されます。



要望書を谷藤市長へ（11月28日）

市政クラブ会派8人（当日2人欠席）が2020年度市政に対する要望書を直接谷藤市長に渡しました。2月5日に各部からの回答をもとにヒヤリングを実施し、不十分な点については今後も会派としても政策提言してまいります。

今期2年間、中村とおるの議会関係の役職は、市政クラブ幹事長、議会運営委員会委員、建設常任委員長、上下水道経営審議会委員、スポーツ推進特別委員会委員などを務めさせていただき、皆さんの声や思いを議会の場での質問・発言、議員活動などを通してしっかりと届けてまいります。